

2020年11月24日

2020年度「肥銀ギャップ資金制度」による寄付の実施について

当行は、2020年度「[肥銀ギャップ資金制度](#)（以下、ギャップ資金）」による寄付を実施しましたので、お知らせいたします。なお、本日（11月24日）に寄付金の贈呈式を開催いたしました。

当行は、今後もギャップ資金を通じて県内の大学等の研究・開発段階にある技術やノウハウを事業化につなげて、熊本発の新たなビジネス創出による地域活性化に貢献してまいります。

なお、ギャップ資金による寄付は今年度がはじめてとなります。

記

寄付先（50音順）	テーマ	概要	寄付額
崇城大学 工学部 教授 池永 和敏	マイクロ波加熱技術を用いる 廃棄GFRPのリサイクルにお けるギャップの顕在化	GFRP リサイクルへの 新たな技術開発	5.0 百万円
熊本大学大学院 先端科学研究部 教授 谷 時雄	分裂酵母 ジャポニカス Kumadai 株の育種開発	世界初の分裂酵母を 用いた米焼酎の製造	3.0 百万円
熊本大学大学院 先端科学研究部 准教授 中島 雄太	手軽に受診できる癌診断 デバイス開発	血液診断による、癌の 早期発見・治療の実現	5.0 百万円
熊本大学大学院 生命科学研究部 准教授 米田 哲也	健康長寿社会実現を目指す認 知症発症間診断技術の実装	MRI を用いた効果的な 認知症の予防	4.5 百万円

以上

【贈呈式の模様】11月24日（火）肥後銀行大会議室にて



※「肥銀ギャップ資金制度」・・・肥後銀行による研究シーズを事業化へ向けて必要な実証や試作等の資金需要（ギャップ）を埋めるための制度。県内の大学、高等専門学校等の研究者を対象として、3年間で50百万円の寄付をおこなう。

《本件に関するお問い合わせ》

肥後銀行 地域振興部

担当：横田

電話：096-326-8609